



削減貢献量の算定方法におけるクリティカルレビュー 声明書

声明書番号:	TSJ-CR-AE-ST-26001	
発行日:	2026年8月18日	
LCA委託者:	パリュエンスホールディングス株式会社 〒107-0062 東京都港区南青山5-6-19 MA5	
LCA実施者:	株式会社ゼロック	
審査員:	テュフズードジャパン株式会社 菅 卓海、邱 亮達	
レビュー対象:	パリュエンスホールディングス リセールサービス削減貢献量算定方法論 (2025年11月7日版)	
レビュー手法:	今回のクリティカルレビューで選択された手法は、以下の通りである。 ➤ 外部の専門家によるレビューに基づいて実施された。 ➤ レビューは、LCA 調査に並行して実施された。 ➤ レビューには、ライフサイクルインベントリ (LCI) モデルの評価は含まれている。 ➤ レビューには、個々のデータセットの評価は含まれていない。	
レビュー過程:	審査員の机上でレビュー対象を確認した後、2026年6月5日および7月16日に LCA 委託者および LCA 実施者との会議で質疑応答した。それぞれの会議後、審査員からコメントを提供し、LCA 実施者がコメントへの回答とレビュー対象の修正を行った。	
レビュー報告書番号:	TSJ-CR-AE-RE-26001	
レビューの簡潔な結論:	本レビューの結果として、レビュー対象の基本的な算定枠組みは、ISO 14044:2006 Ch. 4.1-4.4 に概ね準拠していることが確認された。 しかし、本レビューの対象は、LCA 委託者の事業である多種多様な品物のリセールサービスの削減貢献量を、実行可能な共通の手順で評価するための方法論であり、個別の品物ごとのデータ品質要件は未設定である。また、レビュー対象には個別の品物ごとの感度分析や不確実性分析などの実施方法は規定されていない。これらは ISO 14044:2006 Ch. 4.5 に準拠するために改善すべき点として確認された。また、レビュー対象が ISO 14044:2006 により確実に準拠するためには、算定結果の報告内容が ISO 14044:2006 Ch. 5 に準拠する必要があることも確認された。さらに、削減貢献量に特化したガイダンスである WBCSD Guidance on Avoided Emissions Ch. 4 も参照したレビューの結果として、当該ガイダンスの Ch.4 に沿った考え方の説明を追加することが推奨される。	
審査員の署名:	審査員: 菅 卓海 MO&RI事業部 IS部 TÜV SÜD Japan Takumi Suga 18 August 2026	審査員: 邱 亮達 MO&RI事業部 IS部 TÜV SÜD Japan 邱 亮達 18 August 2026

The LCA third-party report shall be communicated in combination with the LCA critical review statement in accordance with ISO 14071 Chapter 4.5. This LCA critical review statement can be used for client's external LCA result communication if the LCA report is referenced. This critical review statement is only valid if stated in full.

Statement No.: TSJ-CR-AE-ST-26001

Rev.:0

Date: 2026-08-18